

基調講演

関係性が変わり 行動が変わる

1on1のススメ

～新しいコミュニケーション手法の導入～

近年、産業界で広がりを見せる1on1。上司と部下が「定期的に」、「短時間で」、「部下の話したいこと」を中心に対話をするコミュニケーションの手法です。

この1on1を教育の現場で応用することの意義と、実施のポイントを解説いたします。

学生の主体性を引き出したい、退学を防ぎたい、これまでとは異なる学生との関わり方を模索したいとお考えの教員・職員のみなさまにお勧めです！

講演概要

「待ちの関係性」から「必然の関係性」へ。
教育現場で見えてきた課題に対応するため、試行錯誤しながら実践してきたプロセスと手法をご紹介します。

<プログラム>

1. 学生たちが教えてくれたこと
2. バッドサイクルを抜け出しグッドサイクルが回りだす
3. 1on1とはどのようなものか
4. 形骸化を乗り越えるポジショニング理論
5. 具体的な手法と進め方

栗林裕也先生のプロフィール概要

公益財団法人 日本生産性本部 人材・組織開発コンサルタント
国家資格キャリアコンサルタント、白百合女子大学非常勤講師

早稲田大学政治経済学部卒業後、鉄道会社を経て現職。キャリア分野の研究や企業内でのコンサルティング、能力開発の研修に従事。

生きがいと働きがいを感じつつ、その人らしさの発揮が強みとなって現れ、目的を達成することができるよう、「人」と「組織」の支援を行っている。

<実績> 厚生労働省認定 国家資格キャリアコンサルタント養成講座主任講師
企業/教育機関内コンサルティング・研修（経済産業省、ANA、ロッテなど多数）